

会員事業者 各位

(公社)鹿児島県トラック協会

2024年問題に関するアンケート調査について 【協力のお願い】

「2024年問題」と称される働き方改革関連法の施行により、自動車運転者の時間外労働の上限規制（960時間）が2024年4月1日から適用されました。

改正事業法施行後の状況、対応やご意見をお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施いたします。

つきましては、業務ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

記

1. 回答期限 … 8月20日（火）まで
2. 回答方法 … 以下の1～4のいずれかにてご回答ください。

1. 別紙調査票をFAX FAX：099-261-1169
2. 別紙調査票をメール メール：soumu@kta.jp
3. 県ト協ホームページから回答フォームにアクセス 鹿児島県トラック協会 HP 「2024問題に関するアンケート調査について」 https://www.kta.jp/kta/info/2024anke-2/
4. QRコードから回答フォームにアクセス 

以上

【お問合せ】

(公社)鹿児島県トラック協会 総務企画課

TEL：099-261-1167

メール：soumu@kta.jp

鹿児島県トラック協会 2024問題アンケート 調査票

【提出先】 FAX:099-261-1169 又は メール:soumu@kta.jp

会社名			
回答者	(役職)	(氏名)	
電話番号		メール	

以下の設問にご回答ください。(該当する番号に○を付けてください。)

Q1 貴社の全営業所(県内)における事業用トラック保有台数についてお答えください。

(ご回答日時点での緑ナンバー全ての台数。トレーラはヘッドの台数のみを計上してください。)

- ① ~9台 ② 10~29台 ③ 30~49台 ④ 50~99台 ⑤ 100台~

Q2 主な輸送品目について、取扱量が多いもの1つを選択してください。

(主な輸送品目一覧)

- ① 農産物 ② 水産品 ③ 石油 ④ 石炭 ⑤ 食料品 ⑥ 飲料等 ⑦ 繊維・衣料品 ⑧ 木材・木製品
⑨ 紙・紙加工品 ⑩ 出版・印刷物 ⑪ 化学製品・ゴム製品 ⑫ 窯業・土石製品 ⑬ 鉄鋼・金属製品
⑭ 機械・機械部品 ⑮ 家電品・家電部品 ⑯ 輸送機械・輸送機械部品 ⑰ 日用品・雑貨
⑱ 砂利・砂・石材 ⑲ 廃棄物 ⑳ コンテナ ㉑ 引越貨物 ㉒ その他()

Q3 貴社の主となる運行形態をお聞かせください。(運送形態を1つお選びください。)

- ① 長距離(走行距離 500 km以上の運行が主)
② 中距離
③ 近距離(日帰り運行が主)
④ その他()

Q4 「2024年問題」の現時点での影響についてお答えください。

- ① 影響が出ている(出始めている)
② 影響は出していない(当面は出る気配がない)
③ 現時点では判断が難しい

Q5 「2024年問題」による事業への影響についてお答えください。(複数回答可)

- ① 営業収入の減少
② ドライバー等の賃金減少
③ 従業員等の離職の増加
④ 荷主等との交渉
⑤ 長距離運行等の廃止
⑥ 特に影響なし
⑦ その他影響:()

Q6 「2024 年問題」に対応するため、現在すでに取り組んでいる、あるいは今後の取り組み予定についてお答えください。(複数回答可)

- ① ドライバー確保・育成
- ② DXの推進による生産性の向上
- ③ 運行計画の見直し・効率化
- ④ モーダルシフトへの転換
- ⑤ 共同輸送・中継輸送など新たな運行方法の検討
- ⑥ 中継輸送等の活用
- ⑦ ドライバーの待機時間、荷役作業時間等の見直し
- ⑧ 賃金を含む労働条件・職場環境の見直し
- ⑨ 荷主等との運賃交渉
- ⑩ 荷主等との荷待ち時間等削減方策の検討・働きかけ
- ⑪ 特に取組予定なし
- ⑫ その他取組()

Q7 荷主との運賃交渉の有無についてお答えください。

- ① 自社取引荷主の 1 割と交渉した
- ② 自社取引荷主の 3 割と交渉した
- ③ 自社取引荷主の 5 割以上と交渉した
- ④ 交渉はしていない

Q8 待機時間や附帯業務にかかる料金、高速道路料金等を必要経費として収受出来ているかお答えください。

- ① 収受出来ている
- ② 一部は収受出来ている
- ③ 収受出来ていない

Q9 運賃交渉の結果、増額できた荷主の割合についてお答えください。

- ① 交渉荷主数の 1 割以下
- ② 交渉荷主数の 3 割以下
- ③ 交渉荷主数の 5 割以上
- ④ 交渉荷主全てから増額を断られた

Q10 「増額できた」とお答えの場合、取組や工夫した点をお教えてください。(複数回答可)

- ① 荷主に対し、価格根拠を明確に説明した
- ② トラブル回避のため、取引条件や交渉経緯を书面化した
- ③ 荷主・運送事業者間で定期的な打ち合わせの場を確保した
- ④ 料金低減策として、待機時間・附帯業務等の削減を打診した
- ⑤ 自社の強みを生かした経営計画を策定しアピールした
- ⑥ 他事業者の好事例等を参考に交渉した
- ⑦ その他:()

Q11 「増額を断られた」とお答えの場合、理由についてお教えてください。(複数回答可)

- ① 荷主から「当方も厳しいので運賃値上げは一切できない」との返答
- ② 荷主から「他にも運送事業者がおり、他との契約はできるから」との返答
- ③ 荷主から「今は値上げできないが、今後検討する」との返答
- ④ 荷主から「値上げできないが、労働時間を短縮する」との返答
- ⑤ その他:()

Q12 「交渉はしていない」とお答えの場合、理由についてお教えてください。(複数回答可)

- ① 運賃交渉が必要だと認識しているが、なかなか言い出せない
- ② 運賃値上げは困難だと最初から諦めている
- ③ 競合他社の値上げ交渉の状況を待っている
- ④ 自社の適正な原価が把握出来ていない
- ⑤ その他:()

Q13 荷役作業時間の短縮についてお答えください。

- ① 自社の努力により短縮した
- ② 荷主の協力により短縮した
- ③ 短縮されていない

Q14 国土交通省が、トラック運送事業における適正な取引を阻害する疑いのある荷主・元請事業者の監視を強化するために創設した「トラックGメン」についてご存じですか。

- ① 知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 知らない

Q15 物流の2024年問題に対応するため、行政等へ求める支援策についてお答えください。(複数回答可)

- ① 高速道路料金の負担軽減
- ② 働きやすい職場環境整備など、ドライバー確保への支援
- ③ 物流効率化の事例紹介、制度改正の周知等に関するセミナーの開催
- ④ 荷主・消費者の行動変容、商慣行の見直し等に向けた啓発
- ⑤ 物流の効率化のための融資にかかる支援
- ⑥ 人材確保に関する支援
- ⑦ その他:()

Q16 「2024年問題」に対応するにあたり、感じていることや要望など、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。